【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成29年1月12日(2017.1.12)

【公開番号】特開2015-128088(P2015-128088A)
【公開日】平成27年7月9日(2015.7.9)
【年通号数】公開・登録公報2015-044
【出願番号】特願2013-272660(P2013-272660)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｌ　33/50　(2010.01)
Ｈ０１Ｌ　33/10　(2010.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｌ　33/00　４１０
Ｈ０１Ｌ　33/00　１３０

【手続補正書】
【提出日】平成28年11月28日(2016.11.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
装置基板上に実装される第１のＬＥＤ素子、第２のＬＥＤ素子及び波長変換部材を備える半導体光源装置であって、
前記第１のＬＥＤ素子が成長基板を含み、当該成長基板を介して前記装置基板に実装されることにより、
前記第１のＬＥＤ素子の発光層が前記第２のＬＥＤ素子の上面よりも前記装置基板に対し高い位置にあり、
前記波長変換部材は、前記第２のＬＥＤ素子を被覆し、前記第１のＬＥＤ素子の上面には付着しない半導体光源装置。
【請求項２】
前記第２のＬＥＤ素子が成長基板を有していない、請求項１に記載の半導体光源装置。
【請求項３】
前記第１のＬＥＤ素子が赤色ＬＥＤ素子である、請求項１又は２に記載の半導体光源装置。
【請求項４】
前記第１のＬＥＤ素子の発光層が窒化物系化合物半導体からなる、請求項１又は２に記載の半導体光源装置。
【請求項５】
前記第１のＬＥＤ素子及び前記第２のＬＥＤ素子の発光層が共に窒化物系化合物半導体からなる、請求項１～３の何れか１項に記載の半導体光源装置。
【請求項６】
前記第１のＬＥＤ素子が緑色ないし青緑色ＬＥＤ素子であり、前記第２のＬＥＤ素子が青色ＬＥＤ素子である、請求項５に記載の半導体光源装置。
【請求項７】
前記装置基板に対して低い前記第２のＬＥＤ素子の発光面積のほうが、前記装置基板に対して高い前記第１のＬＥＤ素子の発光面積よりも広く形成されている、請求項１～６の何れか１項に記載の半導体光源装置。

【請求項８】
前記装置基板に対して高い前記第１のＬＥＤ素子と前記装置基板に対して低い前記第２のＬＥＤ素子とが前記装置基板に交互に実装されている、請求項１～７の何れか１項に記載の半導体光源装置。
【請求項９】
前記第１のＬＥＤ素子の総数よりも前記第２のＬＥＤ素子の総数のほうが多い、請求項１～８の何れか１項に記載の半導体光源装置。
【請求項１０】
前記波長変換部材は、前記第１のＬＥＤ素子の成長基板の側面に付着する、請求項１～９の何れか１項に記載の半導体光源装置。
【請求項１１】
前記第１のＬＥＤ素子は、半導体層と前記成長基板との間に反射層を備える、請求項１～１０の何れか１項に記載の半導体光源装置。
【請求項１２】
前記反射層がＤＢＲである、請求項１１に記載の半導体光源装置。